



MUSASHINO^{Vol.125} *for* TOMORROW

巻 頭

地球は美しい、世界は素晴らしい

山崎直子(宇宙飛行士)

表紙：南西方面から見た江古田キャンパス



April 2018
vol.125

平成30年度を 迎えるにあたって

武蔵野音楽大学学長 同附属高等学校校長 **福井直敬**



四季のめぐりは違うことなく、長く厳しかった冬が去り若葉の萌え立つ季節を迎えました。

本学では、新入生諸君を新装なった江古田キャンパスへ迎えて、平成30年度の行事が始まろうとしています。一年前を振り返りますと、入間キャンパスから江古田校舎への移転作業がたけなわで、授業開始が多少ずれ込みましたが、本年度は、セメスター制の趣旨に配慮して学期ごとの授業日数を平準化し、4月初頭から学事を開始することといたしました。

広々とした自然に囲まれる入間キャンパスから、都市型の江古田キャンパスへ移動した在学生諸君は、習慣は第2の天性とも言われるように、当初は新しい施設・設備にとまどった様子も見受けましたが、徐々に新校舎にも慣れ親しみ、更に、学部学生から大学院生までが一体となることで、学修の成果も向上してきたようにうかがえ、嬉しく思っております。また、利用する学生の便宜を図り、図書館の開架図書を大幅に増やし、練習室の予約をパソコンやスマホからも行えるようにするなど、施設の有効な活用にも一層の配慮と工夫を行ってまいります。

さて、本学では、学科の再編・統合により、全学的に新しいカリキュラムを導入いたしました。今後2年間は、新・旧両カリキュラムを併行して授業を行うこととなります。遺漏のないように実施することはもちろん、新カリキュラムについても教育成果を十分に検証し、必要な改定に備えてまいります。また、新しく定めた実技試験の評価基準を導入し、成果を検証するとともに、学科目の評価基準についても、その見直しを行います。併せて、単位の実質化を徹底するために、積極的に授業へ参画する態度を一層督励してまいります。

更に、安心・安全に配慮した施設・設備を概ね完備した本学は、建学の精神および教育の方針と3つのポリシーとの整合性を図りつつ、教育の質を確保し、学生の学びを着実にサポートするきめ細かな教育に、全学を挙げて鋭意取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



地球は美しい、世界は素晴らしい

山崎直子 (宇宙飛行士)

▲ ディスカバリー号から撮影したISS (国際宇宙ステーション)

©JAXA/NASA



山崎直子 Naoko Yamazaki

千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年4月、スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、女子美術大学客員教授、日本ロケット協会理事・「宙女」委員長、ロボット国際競技大会実行委員会諮問委員などを務める。著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社)など。

1961年にガガーリン(旧ソ連)が人類初の有人宇宙飛行をして以来、宇宙に飛び立ったのは世界中で約550人。そのうち日本人は12人で、女性は向井千秋さんと今回ご登場いただいた山崎直子さんのたった2人のみです。宇宙を舞台にしたアニメが好きで宇宙に想いを馳せていた少女が、どのような道をたどって宇宙飛行士になるという夢を実現させたのか、宇宙を体験してどのような変化が生じたのか、興味深いお話を披露してくださいました。

(2018年1月23日取材、文責編集部)

星を見る会

千葉県松戸市に生まれ育った山崎さんは、父親の転勤で5歳から7歳まで北海道に移り住んだ。その間、地元の小学校が主催する「星を見る会」に参加するなど、宇宙への興味は幼

い頃から芽生えていた。

「幼稚園の頃から星を見るのが好きでしたし、アニメの『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道999』を良く見ていましたね。その頃は、宇宙に行きたいというより、大人になったらみんな行くものだと考えていました。宇宙への想が強くなったのは、『星を見る会』で初めて天体望遠鏡をのぞいたのがきっかけ。月のクレーターや土星の輪がはっきり見えて、ああ面白いなど。ただ、当時はまだ日本人の宇宙飛行士はいませんでしたし、その存在すら知りませんでした。小さな頃の将来の夢は、学校の先生になることでしたね」

山崎さんが宇宙飛行士という仕事を身近に感じ、自分がいつか宇宙に行くことをおぼろげなイメージとして思い描くようになった出来事が、中学3年生で受験勉強をしていた時期にテレビで見たスペースシャトル・

チャレンジャー号の打ち上げの実況中継だった。しかし、チャレンジャー号は離陸後わずか73秒で大爆発。搭乗員7名全員が命を落とす大惨事となった。

「実際にそこに宇宙船があって、宇宙飛行士がいるということを、このときに初めてリアルに感じました。とても悲惨な事故でしたが、それまではアニメやSFでしか知らなかった世界が本当にあるということに大きなインパクトを受けましたね。犠牲者の中にクリスタ・マコーリフさんという女性の高校教師がいました。後に、彼女が宇宙授業を計画していたことを知り、私自身もともと教師志望でしたから、いつか宇宙飛行士になって彼女の夢を引き継げたらいいなど漠然と考えるようになりました」

ユニークな選抜試験

その後、山崎さんは宇宙開発の道に進むべく東京大学工学部航空学科に入学。同大学院、大学院時代の留学を経て、NASDA（現JAXA 宇宙航空研究開発機構）に入社。3年後、宇宙飛行士候補選抜試験を受ける。書類選考後、1次から3次までの厳しい選抜試験を経て、見事に宇宙飛行



士の候補に選ばれた。応募者864名、最終合格者3名という狭き門だった。ISS（国際宇宙ステーション）の中の実験棟を模した建物の中で集団生活を送りながら行われた3次試験の試験内容が、かなりユニークだったらしい。

「絵柄のない真っ白な144ピースのジグソーパズルに挑戦したり、脈絡のないアルファベットの羅列をひたすらワープロで打ち込んだり…。最も不可解だったのが、予算7万円で1週間の東北旅行を計画しなさいというもの。一体何を

チェックするための試験だったのでしょうか(笑)。3次試験までに残ったのは8名で女性は私だけでしたが、合宿みたいでとても楽しく、試験終了のときは寂しく感じました。結果的に古川聡さん、星出彰彦さんと私が選ばれましたが、なぜ私が3人のうちに入ることができたのかは永遠の謎です」

見事に宇宙飛行士の候補となり、ここから宇宙飛行士として正式に認められるための基礎訓練が始まる。内容は座学を含め約230科目、総訓練時間は1,600時間にも及び、非常に過酷な訓練もあった。

「座学では宇宙飛行士として必要な知識を学ぶわけですが、その範囲は工学関係、医学、地質学、鉱物学、英語、ロシア語、その他もろもろ多岐にわたります。それぞれ習熟度の確認テストがありますので、予習、復習も欠かせません。成績が悪いと追試があったり(笑)。体力



▲ 宇宙服姿の山崎さん

©JAXA/NASA

的にきつかったのは、サバイバル訓練と呼ばれるもの。これは地球に帰還した際、予定した地点から逸れた場所に不時着したことを想定し、救助隊が来るまで自力で生き延びる能力を養うための訓練です。例えば冬のロシア、極寒の原野での訓練。マイナス20℃の気温、強風が吹けば体感温度はマイナス30℃もの寒さです。斧を使って木を切り、たき火で暖を取りながら乗り切りました。これらの訓練、そしてその後のさまざまな訓練も確かに大変でしたが、大変ながらもそれなりに楽しむことができました。ただ、こうした訓練を続けていても、いつ宇宙に行けるか分かりません。どこまで頑張ればいいのか、この生活をいつまで続けられるのか。まるで目隠しをしてマラソンをしているような心境で、それが一番辛かったですね」

搭乗決定、そして宇宙へ

1999年2月に宇宙飛行士候補に選抜され、晴れてISS搭乗宇宙飛行士

に認定されたのは2001年9月。しかしながら2003年に起きたコロンビア号の空中分解事故などもあって、スペースシャトル計画は停滞。まさに先の見えないマラソンのような状態のなか、山崎さんは搭乗の知らせを待ち続けた。

「2008年11月、何の前触れもなく、NASAの宇宙飛行士室長から『搭乗が決まった』というメールが届きました。あまりに突然で驚くとともに、やはりすごく嬉しかったですね。でも、ここからが本番なんだと、気が引き締まったことを覚えています。搭乗は2010年、候補に選ばれてから実際に搭乗するまで約11年、この長い年月を諦めずに頑張りが続けたのは、宇宙飛行士の仲間やスタッフ、家族など、みんなと想いを共有している、一緒に頑張っているという面が大きかったように思います」

2010年4月5日、山崎さんを含め7名のクルーを乗せたスペースシャトル・ディスカバリー号は、フロリダのケネディ宇宙センターから打ち上げられた。いよいよ宇宙へ。

「発射後、徐々に加速し、数分間は3Gの圧力にさらされます。エンジンが止まった瞬間、前につんのめるような状態になり、それが落ち着くともう無重力の世界。ペンがふわふわ浮いたり、床にたまっていた埃が巻き上がってキラキラしたり…。シートベルトを外すと自分の身体も浮き



▲ ディスカバリー号の搭乗員7名で記念撮影。窓の向こうに地球が見える

©NASA

上がって、その瞬間、ああ宇宙にきたなと実感しました。そして、不思議なことに『懐かしいな』という気持ちになったんです。浮いている感じが、母親の胎内にいたときの記憶を呼び起こしたのかもしれませんが。宇宙はすごく遠くにあるものだと思っていたのに、実は故郷だったんじゃないか、そんな感じがしました」

見飽きない地球の美しさ

宇宙飛行士の多くが、宇宙から見る地球の美しさを「奇蹟のようだ」と語っている。ドッキングしたISSでの忙しいミッションの傍ら、山崎さんも地球の美しさに魅了されたという。

「宇宙空間は常に真っ暗。そんな真っ暗を背景に、地球の日の出、夜には街の灯りが浮かび上がって、コントラストがとても美しいんです。また地球の夜明けには、太陽の光を受けて空気の層が薄い線のようにな

り、虹色に浮かび上がります。ほんの3、4秒ほどの光景ですが、これもまた神秘的で目を奪われます。北極、南極のオーロラや流れ星なども毎日見ることができましたし、時間があれば窓越しの眺めを楽しんでいました。私の主な任務はロボットアームを使つての諸々の作業なんですが、地上でのシミュレーションではバックは地味なCGの画面。それが、実際の作業では当然ながら本物の美しい宇宙が広がっているわけです。作業中、つい見とれそうになります。幸い大きなトラブルもなく、ミッションを果たすことができました(笑)」

宇宙飛行の楽しさを語る山崎さんだが、搭乗前には「遺書」を書き残している。スペースシャトルも過去に2度の大事故を起こしているように、宇宙飛行はロマンと同時に、死と隣り合わせという側面も併せ持っている。

「遺書と言っても、それほど感傷的なものではなく、加入している保険や銀行についての情報、もしもの時の連絡先など、残された人に必要な情報を淡々と書き記すといった感じのものです。それを封印して、封が開けられることのないことを祈りつつNASAに預けるわけです」



▲ 無重力の中をただよう水の玉を見つめる山崎さん

©NASA



▲ 船内にて、女性宇宙飛行士が勢ぞろい

©NASA

宇宙で聴いた 『G線上のアリア』

スペースシャトルでは、宇宙飛行士は自分の希望する曲で目覚めることができる。山崎さんがウェイクアップコールにリクエストしたのは、宮崎駿のアニメ「天空の城ラピュタ」の中で流れるトランペットの旋律が美しい「ハトと少年」と、松田聖子の「瑠璃色の地球」の2曲。

「娘も私もジブリ映画が好きで、『ハトと少年』は家族にとって馴染み深い曲でした。劇中でも朝の場面に流れる曲ですし、さあ今日も頑張ろう！という気持ちになれるという想いで選びました。『瑠璃色の地球』は、単純に宇宙で聴いてみたかったんです」

また、ISSに長期滞在中だった野口聡一さんの横笛と山崎さんの箏による合奏「さくらさくら」が中継され、話題となった。

「事前に二人で何かやろうと色々計画していたんです。手巻き寿司をみんなに振る舞おうとか、簡単な実験をやろうとか。合奏もその一環。日本らしくて季節的にもぴったりの曲ということで、『さくらさくら』を選

びました。ISSには、かつて滞在した宇宙飛行士が残していったキーボードもあり、過去にはギター、フルートを持っていった飛行士もいます。これから宇宙飛行士になる人は、何か楽器ができると宇宙体験に深みが増すかもしれませんね(笑)」

最近では、宇宙飛行士それぞれが携帯型の音楽プレーヤーに好きな音楽を入れて持って行き、空いた時間に耳を傾けるという。

「宇宙滞在中、一番良く聴いたのはバッハの『G線上のアリア』。前から好きな曲でしたが、宇宙で聴くと、気持ちが落ち着くというか、しっくり来るんですね。クラシック音楽にはどこか宇宙的なものを感じていたんですが、まさにそれを実感しました」

当たり前がありがたい

宇宙滞在15日間、地球を238周したあと、ディスカバリー号は無事地球に帰還。宇宙を体験することで人生観が変わったという宇宙飛行士も多いというが、今回の経験は山崎さんに何をもたらしたのだろうか。

「地球に戻り、まず重力の重さを感じました。腕も重いし、頭は潰け物

石を載せているようでフラフラしました。そのあと感じたのは、風。そよ風が吹いてきて、緑の香りが漂ってきて、とても心地良く感じました。宇宙から見る地球も美しいんですけど、この世界、日常の景色が一番素晴らしいと改めて思いました。そよ風、草の香り、土の感触、以前なら当たり前だったものが、無性にありがたく思えたんです。時間がたつにつれ、この『当たり前がありがたい』という感じはじわじわと深まっていきました」

小さな頃から憧れていた宇宙に行くという夢を実現した山崎さん。夢を叶えることができた秘訣をうかがった。

「私自身は、まだ夢の途中だと思っています。宇宙にまた戻りたいし、いつかは月にも行きたい。子どもの頃に思い描いていた、誰もが宇宙に行ける時代になって欲しいという点から言えば、まだ夢の入口付近かもしれません。宇宙飛行士になるという望みをどう実現したかに関しては、



▲ 本学江古田キャンパス図書館にて

私自身、最初から宇宙ひと筋だったわけではありません。教師に憧れたり、海外文通したり、お箏を習ったり、英語部に入ったり、硬式テニスやジャズダンスに夢中になったり…その時々で興味のあることに打ち込んだだけですが、結果としてすべてが宇宙飛行士の仕事につながっていました。一生懸命に取り組んだこと、もがき苦しんだこと、考え抜いたこと、結果的にそれら全てが自分の糧となりいつか実を結ぶのだと思います。人生に無駄なことなどない、すべてが夢の実現につながると信じて、諦めないことが大切ではないでしょうか」

インポッシブルと チャレンジング

最後に、夢に向かって歩んでいる若者へのメッセージをいただいた。

「夢に至る道は、時に長丁場となります。焦らず、自分のペースで進むことが大切。道にはアップダウンがあります。近くばかりを見ないで、視線は遠くに置きつつ一步一步確実に歩んで行って欲しいですね。何よ

り今やっていることを楽しみましょう。苦しいときこそ楽しむという気持ち忘れずにいてください。そしてもう一つ。私が宇宙飛行士の訓練と子育ての両立で途方に暮れていたとき、先輩の女性宇宙飛行士がけてくれた言葉を紹介します。『子どもを育てながら訓練を続けることは、インポッシブル(不可能)ではなく、

チャレンジング(挑戦に値すること)なんだよ』。壁にぶつかったとき、それをインポッシブルと捉えれば、そこでおしまい。チャレンジングと考えれば、これは自分が成長するのに必要なのだと前向きに受けとめることができるのではないのでしょうか。皆さんも、道のでこぼこをプラスに考えて、チャレンジしてください」



▲ 地球帰還後の搭乗員とディスカバリー号

©JAXA/NASA

音楽の万華鏡 ④

オペラではないオペラ

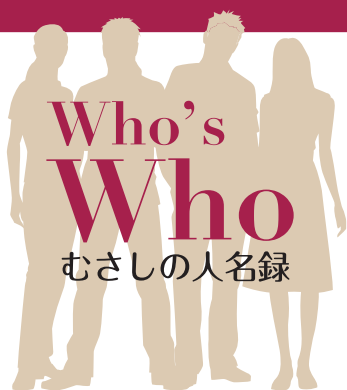
この題目は、挑発的な意図があってつけたわけではありません。実際にこう呼ばれている作品はあります。たとえば、三善晃の完成されたオペラとしては最初の作品となるオペラ「遠い帆」(1999)は、初演されたさいに、独唱よりも合唱が進行を担っているという理由で、あるいは登場人物が舞台で演劇的に展開されるというよりも、音楽に求心的に向かう傾向にあるという点で、これはオペラというよりはオラトリオである、という批評がありました。「オペラではないオペラ」というとき、

前者のオペラは、19世紀のイタリア・オペラやドイツ・オペラを指し、後者のオペラは、前者のオペラにグルーピングするのが適切でないオペラを指していると思われる。具体的には、西洋音楽の一ジャンルとしてのオペラを伝統にもたない日本をはじめとするアジアの作曲家によるオペラ、あるいは、ミニマル・ミュージック等、劇的な展開のイメージからは遠い、現代の手法によるオペラと題された作品などが当てはまるでしょう。そうであれば「オペラではないオペラ」のような否定的な呼び方をするのではなく、実際の作品に即した名称をつければいいのに、と言いたくなりますが、「オペラではないオペラ」は、オペラは作曲家の誰かが書きたいと思うジャンルであると同時に、これまでのオペラには還元できないオリジナリ

ティに対する欲求も同じくらいに強いのが現代のオペラ創作の実態であることを示唆しています。

「オペラではないオペラ」に当てはまると思われる比較的最近の作品の一つ挙げしておきます。世界初演を経て、2018年2月に日本初演された細川俊夫のオペラ「松風」です。「松風」の歌唱パートは、能楽を思わせるゆっくりとしたテンポで、シラブルの一つ一つがたっぷりと伸ばされるので、言葉はなかなか形を現しませんが、歌い手がいかに声を吹き込むかによって言葉の音と意味をじっくりと顕現させます。言葉を音楽へと起こしていく方法は、特に、その言語を母国語とする文化以外の文化に開かれていることを感じさせます。

榎崎洋子(本学音楽学教授)



武蔵野には、音楽の研鑽に励む一方、音楽以外の分野にも積極的にチャレンジしている学生がいます。今回はそんな中から、「書」「英検」「医学」に取り組み成果を挙げている3名にお話をうかがいました。(2018年2月9日取材)

「書」の大会で最高賞を受賞！

田村 茜(演奏学科ヴィルトゥオーゾコース2年 声楽専攻)

私が書道教室に通い始めたのは、4歳の時。6歳から恩師・小池青皚先生に指導を受けるようになりました。当初はいわゆる書写書道でしたが、高校からは芸術としての「書」に取り組み、中でも隷書という書体、また楊峴という名書家の書法に惚れ込んで、こうしたスタイルの書を究めようと努力しているところ



▲ 内閣総理大臣賞を受賞した田村さんの作品

高校3年生の時、第33回成田山全国競書大会で内閣総理大臣賞を受賞しました(総応募点数127,873)。作品提出がセンター試験の3日前という慌ただしい時期だったのですが、ずっと挑戦し続けてきた大会ですし、やり遂げたい一心で書き上げました。高校生までという応募制限があるので、最後の最後に最高賞を獲得できました。音楽と同じように、書も古典を大切にします。受賞理由としては、楊峴の書法をうまく解釈して表現できたと評価していただいたのではないのでしょうか。昨年8月には特別賞を受賞した14名で中国の北京を訪れ、書道交流をしました。当日は奇しくも小池先生の命日。若くして亡くなった先生の方もみんなに長生きして欲しいとの願いを込め、「亀龍寿」と縁起のいい3文字を書きました。

書道を始めたのと同じ4歳で武蔵野の江古田音楽教室に入り、中学3年の時に声楽を始めました。書で



田村 茜 Akane Tamura

星美学園高等学校卒業。武蔵野音楽大学附属江古田音楽教室修了。現在、武蔵野音楽大学演奏学科ヴィルトゥオーゾコース2年次在学中。声楽を新井芳美、砂川涼子の各氏に師事。6歳より小池青皚氏のもと、書道を始め、現在は中村大郁、小池香寿美の各氏に師事。第33回成田山全国競書大会内閣総理大臣賞受賞。

培った集中力は音楽にとっても役立っていると思います。また、字を書く際に、筆を浮かせてみたり、力の強弱をつけたり、表現を色々と工夫し試すことは、歌の練習に相通じるように思います。私にとって、書も音楽もなくてはならないもの。将来の夢は、音楽ではオペラの舞台に立つこと、歌のおねえさんになること。書では、小池先生のような師範になることです。

図書館を活用して英検1級に合格！

小松シャーロット(器楽学科4年 ピアノ専攻)

私は父がイギリス人で、6歳までケンブリッジ大学のそばに住んでいました。日本に移住してからずっとインターナショナルスクールに通っ

ていたのですが、中学3年生の時に音楽科のある中高一貫校に編入しました。しかし、日本語ばかり話す環境に変わり、日々自分の英語力が落

ちていくことに危機感をおぼえ、英語力を保つために英語検定試験の勉強をしようと思い立ったわけです。高校2年の時に準1級を取り、昨年、大学3年の時に1級を受けました。

1次の筆記が6月にあり、それに向けて図書館にこもってWi-Fiを利用

しながらインターネットで参考になる文献を色々あたりました。ちょうどその頃、フロイトの精神分析論に興味があって日本語の文庫を読んでいたのですが、趣味と実益の一石二



▲ 江古田キャンパスの図書館

鳥になるのではないかと英語版をダウンロードして読み始めました。英検1級の試験に出た英文よりこちらの方が難しかったので、読解問題は楽に解くことができました。また、1級はボキャブラリーの豊富さが肝心で15,000単語くらいは網羅しておかないとダメだと言われます。私はもともと読書好きなので、英語でも多くの本を読んでいたことが役に立ったようです。新しいキャンパスの図書館は資料の充実に加え、カフェのように快適で居心地が最高です。英検の勉強が随分はかどりました。

大学卒業後の進路に関しては、音楽関係か英語を使える職業か悩んでいるところです。どちらも活かせるといいですね。近い目標は、2020年



小松シャーロット

Charlotte Komatsu

福岡女学院高等学校卒業。現在、武蔵野音楽大学器楽学科4年次在学中。ピアノを吉岡まり子、福井直昭の各氏に師事。大学3年次に実用英語技能検定1級取得。

の東京オリンピック。英検1級の合格者は通訳案内士の資格試験で優遇されるので、そうした資格を取って、スタッフとして大会に関われたらと思っています。

音楽と医学に通じるもの

馬場翔太郎(大学院修士課程ヴィルトゥオーソコース休学中)

私の家は代々医者の家系で、私は16代目にあたります。高校を出て医学部に進み、医師になるというのは当然のことだと思っていました。その一方、母の影響で3歳からピアノを始め、音楽の素晴らしさを知のうち、医学部に行ったあとは音大で学びたいと思うようになりました。そして実際、医大の卒業が見えてきた頃から武蔵野の先生に就かせていただき、受験、合格に至りました。

武蔵野では2年次よりヴィルトゥオーソ学科に転科し、日々の充実のレッスンに加え、試験に向けては多彩な曲と長時間向き合うという経験ができました。武蔵野には学外でも活躍されている先生が多く、実践的な情報を含め教えていただき、現実的な視野のなかで将来を検討できたように思います。大学3年の時にプ

ロのオーケストラの現場に触れて音楽を職業にしたいという思いが確固としたものになり、また多くの先生方に憧れて、音楽の指導者になりたいという気持ちが強くなりました。そして夢の実現に向け、武蔵野のこの教育環境の中で自分の可能性をより広げたいという思いから、大学院進学を決めました。

ただ、いま現在は一時休学して研修医として働いています。医師として過ごす中で感じることは、病院というのは生と死に関わっている場所。音楽も始まりがあり終わりがある、死生観を大切にしている点で似かよっていると言えるのではないのでしょうか。また、医療の現場に立つことで命と向き合う責任の重さを実感しており、これは音楽の指導者が教え子の将来に責任を持つことにも



馬場翔太郎 Shotaro Baba

香川県立高松高等学校卒業。順天堂大学医学部卒業後、武蔵野音楽大学ヴィルトゥオーソ学科卒業。ピアノを網本和子、中村久美子、栗原千種、渡邊規久雄の各氏に師事。現在、越谷市立病院に研修医として勤務のため、武蔵野音楽大学大学院修士課程ヴィルトゥオーソコースを休学中。

通じることだと思います。2年間の研修を終えたら武蔵野に戻り、大学院修了後は音楽に携わる仕事に就くと決意していますが、いまのこの医師としての経験が将来生きてくると信じています。

大規模改修工事を終え、 新たな幕を開けた“伝統の象徴”

「ベートーヴェンホール」

(文：福井直昭 副学長)

我が国最初の本格的な音響設計がなされたコンサートホールとして、1960年に竣工したベートーヴェンホール。記念碑的な存在である同様に本邦初のコンサートオルガンや、その高い音響効果により国内外から注目を集め、音楽ファンにも長年親しまれてきました。歴史的・文化的価値から旧キャンパスの建物で唯一保存された同ホールの大規模改修を、昨年の「新キャンパス竣工記念特別演奏会」でも演奏された福井直昭副学長をご紹介します。

歴史の継承——変わらぬ響きとデザイン

今回の改修にあたって(株)大林組(キャンパス全体の新校舎群に併せ、当ホール改修の設計施工を担当)には、本学ならびに日本のコンサートホールの歴史を象徴する存在であることを重んじ、「建物の安全性ならびに遮音・静粛性能等の向上を図り現代仕様のホールとするが、これまでの雰囲気、音響特性は改修後も維持すること」をお願いしました。

改修工事の最重要課題は、現行法規への適合でした。中でも最難関はホール天井で、なぜなら60年前の竣工当時とは異なり、現在の基準では大空間を覆う高天井には耐震

対策が求められており、さらに音響・空間の雰囲気を維持するという大命題により既存のモルタル天井を残すことを選択したからです。考究の末、その解決策として天井面を落下防止ネットで覆い、力学的・音響的条件を満たした仕上げ材を塗り込

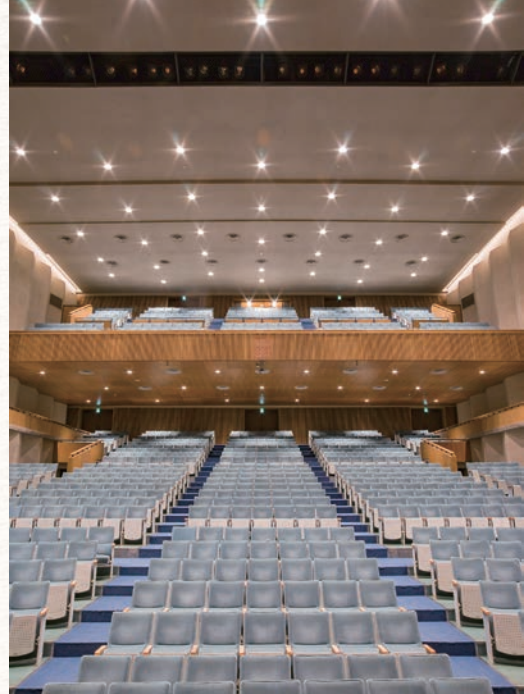
んで天井とネットを一体化させるという方法が発案されました。(株)大林組および音響監修を行った(株)永田音響設計により、仕上げ材の音響的性能、見え方の緻密な検討・検証が行われ、その結果ホール内の音響特性は維持され(周波数特性はほとんど変化なし)、且つあたかも天井には何も手を加えていないような仕上がりとなりました。この新しい方法は、現在特許出願が公開されています。

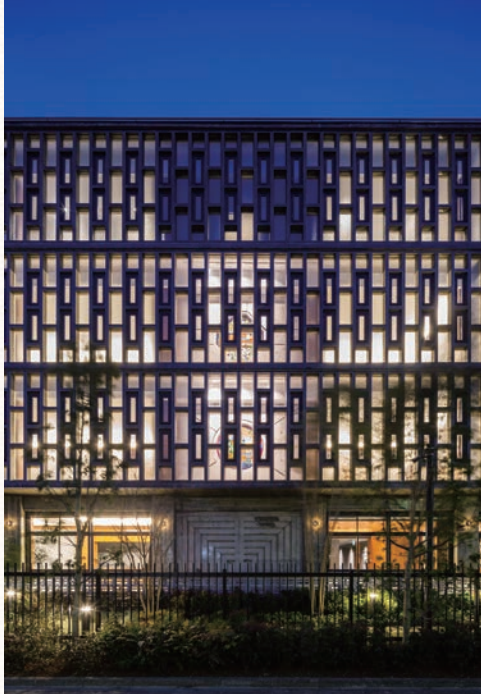
なお残響時間は、客席後部の吸音天井をより残響効果のあるものに変更したため、1.9秒(空席時500Hz)と0.1秒ほど長くなりました。既存の室内音響特性が維持されつつクラシックコンサートにより相応しい空間となり、昨年の演奏会時も超満員の聴衆の方々との一体感を感じながら、互いに臨場感あふれる音楽体験を共有することができました。

またホール天井落下防止対策に加え、建築構造を補強し耐震化を行ったほか、防災設備の設置、避難経路の延焼防止対策等を施し、より高い安全性を確保しました。

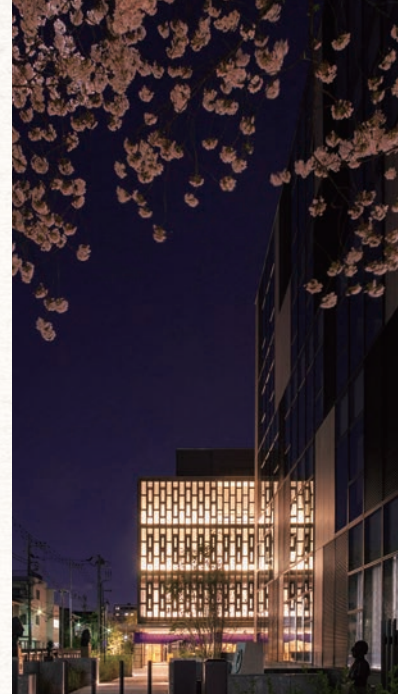
現在の基準に引き上げられた 諸設備の性能

空調設備の更新については快適性の向上のみならず、低騒音型空調機の採用等によりホールの静粛性を現在の基準に合わせ、さらに高遮音壁・扉への更新により遮音性能も向上させました。また最新の器具により十分な明るさを確保したホール照明のほか、エントランス庇や西外壁等の外部照明も更新を行いました。その他、舞台機構装置の更新やバリアフリー化(エレベーターや車椅子利用者用客席の設置)も行い、様々な部分が現在要求される性能に引き上げられました。改修後の客席数は1,043席です。





▲ 内部からの照明で美しく浮かび上がるホール西側外壁



▲ 感動の世界へ誘うショバンpromenadeから見たホール南側外観（2017年度入学式前夜）

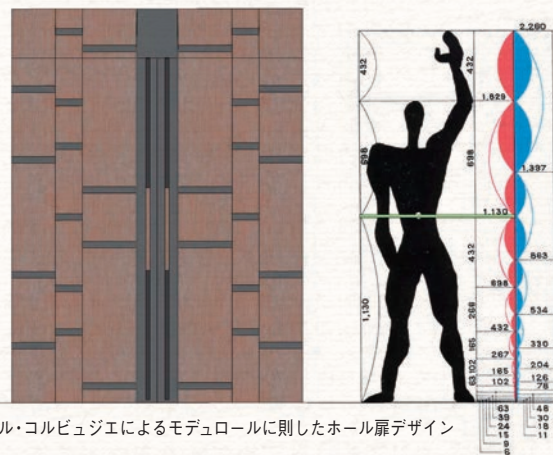
演奏会への期待を高める 荘重なエントランス

エントランスロビーとホワイエのリニューアルも、当ホールと関わりを持った多くの方々の記憶との齟齬が生じないように保存箇所との整合性を意識し、またここを経由し入館するプラームスホールにも留意した荘重なデザインとしました。同じくトイレも、重厚荘厳な建物イメージに整合するインテリアデザインとしています。床、壁は「石のホール」であることを感じさせる石調材で、色彩もホール内装に似せています。洗面カウンター天板には、改修前に使用されていた現在では希少な人造石研ぎ出し材を再研磨し、リユースしています。

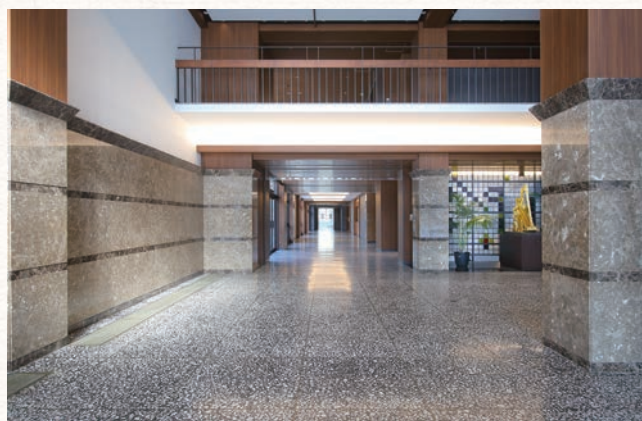
また、当ホール外観の最大特徴である穴あきブロックの格子窓を内部から光らせることにより、更なるシンボル性の向上を図りました。ブロック外壁とその内側に新設した耐震補強壁との隙間に配した照明は建物を美しく浮かび上がらせ、エントランス空間から漏れる光と調和し、「ショバンpromenade」を歩く人々をこれから始まる感動の世界へと誘います。

1階ホワイエからホールへの扉の意匠は、近代建築の巨匠ル・コルビュジエの提唱したモデュロール（人体の寸法と黄金比から作った建築物の基準寸法の数列）に則したものです。建築と音楽の接点を意識し、建物の中でも扉といった特に身体に近い部位に、音楽とも関係の深い黄金比によるデザインを与えた結果、コンサート空間への入口に程よいリズム感を生み出しました。

新築のプラームスホールと共用の3室の楽屋はシャワーやピアノを備え、ステージの映像配信が行われるほか、明かり取りの窓を設置するなど、アーティストたちが最良のコンディションで臨めるよう、きめ細やかな配慮が施されたくつろぎのスペースとなっています。



▲ ル・コルビュジエによるモデュロールに則したホール扉デザイン



▲ 荘重なデザインでリニューアルされたエントランスロビー



▲ ホール扉

ロビー上階の 新校舎サポート施設への改修

エントランスロビーの上階は、新校舎機能をサポートする諸室へと改修されました。エレベーターが新設され、2階には応接室、3・4階には男女トイレ、予備室、自販機コーナーが設置されました。女性用トイレ内には独立したパウダールームが設けられ、雰囲気の異なる空間としてデザインされています。床、壁には木調のマテリアルを用い、柔らかな間接照明で落ち着感を演出する一方、武蔵野のイメージカラーであるパープル系のグラデーションの色彩と有機的な形状のモザイクタイルを用いて、華やかさも付加しています。特に4階の同所は元々旧キャンパス447室（初代モーツァルトホール）でしたので、高い階高を活かした特徴的な三角天井としました。これらのデザインアイテムで構成されたパウダールームは、ちょっとリラックスしたり、気分を切り替えたりするのにぴったりの快適空間となっています。

新章開始——新キャンパス校舎群との “伝統と先進の「和」”の形成

「ベートーヴェンホールは威厳のあるお爺ちゃん、新築の孫たちに囲まれた感じ」「しわを隠すようなことはしない」、計画の初めに設計者から提示された「新築群との関係」と「改修のあり方」の基本方針です。その結果、時の経過のみが与える風合いを身に着けた外壁はそのまま残され、新築群の外壁と愉しく協奏しています。格子状のデザインパターンを踏襲したブラームスホールのガラス外壁はその一例で、まさに新キャンパスプロジェクトのコン



▲ブラームスホール外壁：
ベートーヴェンホール(右)の格子状のデザインパターンを踏襲している



▲(左)竣工年(1960)と2回の改修年(1984, 2017)を示す銘板(ホワイエ1階)
(右)西村龍介画伯原画(1986)によるステンドグラス(ホワイエ2階、3階)

セプト“伝統と先進の「和」”が実現しています。

耐震、防水、設備、内装といった様々な総合改修を終え、現代の仕様にアップデートされたベートーヴェンホールは、新キャンパスの校舎群と機能的・有機的に結びつき、武蔵野の伝統の象徴として、また日本における本格的音楽ホールの先駆けとしての任務を継続しながら、これからも活用されていきます。



▲女性用パウダールーム：武蔵野のイメージカラーをベースとした優しいグラデーションの色彩を使用している



▲ケマル・ゲキチ×福井直昭 武蔵野音楽大学江古田新キャンパス竣工記念特別演奏会(2017年6月30日)
演奏者と聴衆が互いに臨場感あふれる音楽体験を共有した

楽しく元気に三幼稚園発表会

本学附属三幼稚園の初春の恒例行事、武蔵野幼稚園の「表現発表桃の会」が2月25日に①、武蔵野音楽大学第一・第二幼稚園の「ひなまつり音楽会」が

3月3日と4日②③にそれぞれ行われました。

本園では、保育活動の一環として、リズムを重視するオルフメソードや



①



②



③

楽器のレッスンなどを取り入れていますが、この音楽会は、園児たちが1年間積み重ねてきた練習の成果を発表する晴れ舞台。大学のホールや幼稚園ホールを会場に、いくぶん緊張しながらもバイオリンや木琴の演奏、合奏や合唱などを力いっぱい披露しました。詰めかけた大勢の保護者、ご親戚、お客様から万雷の拍手をいただいて、ちょっぴり誇らしげなみんなの可愛い笑顔が印象的でした。

外国人教授紹介 (平成30年度前期)



マルゲリータ・グリエルミ
Margherita Guglielmi (声楽／イタリア)

イタリアの名ソプラノ歌手。16歳でオペラ主役デビュー。ミラノ・スカラ座でのデビュー以後、20年間途切れる事なくスカラ座全シーズン、全ての世界ツアーに出演。1969年にはスカラ座より『金の胡桃賞』を授与された他、イタリア国内外の主要歌劇場で高い評価を受けた。1967年第5次NHK イタリア歌劇団日本公演で初来日。1981年ミラノ・スカラ座初来日公演でも再来日している。また、ベルカント唱法を伝承する歌い手として名声を博しており、現役を退いた今日でも指導者として高い評価を得ている。



ケマル・ゲキチ
Kemal Gekic (ピアノ／クロアチア)

1962年クロアチア生まれ。旧ユーゴのノヴィサッド音楽院で学ぶ。史上最高得点でディプロマを取得。1981年国際リスト・ピアノコンクールで受賞。1985年のショパン国際コンクールでは、聴衆の圧倒的支持を得て「最優秀ソナタ特別賞」受賞。その後世界各地で活発な演奏活動を展開し大好評を博す。CD録音も積極的に行い、特にリストの演奏では第一人者として不動の地位を築いている。フロリダ国際大学教授。



ロバート・ダヴィドヴィッチ
Robert Davidovici (ヴァイオリン／アメリカ)

ルーマニア生まれ。ジュリアード音楽院にてガラミアンに師事。カーネギーホール国際アメリカ音楽コンクール第1位受賞。以後幅広いレパートリーで世界的に演奏活動を行っている。大阪フィルハーモニー交響楽団、バンクーバー交響楽団等のコンサートマスターも務めた。フロリダ国際大学教授。



クリスティアン＝フリードリヒ・ダルマン
Christian-Friedrich Dallmann
(ホルン／ドイツ)

ハンス・アイスラー音楽大学にてクルト・バルムのもとで研鑽を積んだ後、1978年にマルクノイキルヒェン国際音楽コンクールホルン部門で第1位受賞。同年ベルリン交響楽団（現ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団）のソロホルン奏者となり、以後22年以上首席奏者を務めた。古楽器による演奏活動も、ベルリン古楽アカデミーのメンバーとして多くの演奏旅行とCDの録音を行った。現在、ベルリン芸術大学教授。



レイ・E. クレーマー
Ray E. Cramer
(ウインドアンサンブル指揮／アメリカ)

アメリカ、インディアナ大学音楽学部で、2005年まで吹奏楽学科主任教授並びにバンドディレクターとして活躍し、また2009年まで著名なミッドウェスト・クリニック会長の要職も務めた。全米吹奏楽指導者協会会長をはじめ数多くの吹奏楽協会の要職を歴任する他、インディアナ大学最優秀教授賞、Phi Beta Mu 国際優秀賞等多くの賞を受賞。2012年には権威ある National Band Association Hall of Fame of Distinguished Conductors に選ばれ、全米、日本等で広く活躍している。武蔵野音楽大学名誉教授。

MUSASHINO 掲示板

平成29年度音楽大学卒業生演奏会(桃華楽堂)

平成30年3月20日、皇居内にある音楽ホール桃華楽堂で、在京の5音楽大学の代表による「音楽大学卒業生演奏会」が、皇后陛下ご臨席のもと開催されました。

本学からは、古市明里さん(ピアノ独奏)が出演し、リスト作曲「演奏会用大独奏曲」を披露させていただきました。

平成29年度クロイツァー賞受賞者

わが国のピアノ音楽発展に寄与したレオニード・クロイツァー教授の名を冠した「クロイツァー賞」。教授とゆかりが深かった東京藝術大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学の大学院から、毎年特に優れた成績を修めた学生が選出されます。平成29年度、本学からは、上坂愛美さんが選ばれました。

記念演奏会は、平成30年7月14日 18:30 東京文化会館小ホールで開催されます。



武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々

学校法人武蔵野音楽学園では、寄附金に対する税額控除制度の恩典が与えられたことに鑑み、教育環境整備基金、福井直秋記念奨学基金並びに演奏活動特別基金の拡充を目的とする寄附金を募集しましたところ、下記の方々よりご寄附をいただきました。ここにご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。

学校法人 武蔵野音楽学園

※ご芳名（五十音順）は、平成29年11月17日から平成30年1月31日までに寄附いただいた方々です。それ以降の方々は、次号にて掲載させていただきます。また勝手ながら掲載区分は当方で決めさせていただきました。何とぞご了承ください。

※本学ウェブサイトからも、クレジットカード決済によりご寄附のお手続きができます。是非ご利用ください。

【同窓生】 相田るみ子様 秋山江美様 朝木晴美様 安倍悦子様 在原圭伊子様 池上雅子様 池田響子様 池永三枝子様 石井百代様 磯崎千恵子様 市川喬子様 猪瀬奈緒子様 打越孝裕様 内野公子様 兎束淑美様 枝 浄子様 大嶋早苗様 太田春子様 岡 益代様 岡戸晃男様 小田英二様 小野久実子様 尾村明子様 景山一恵様 笠井キミ子様 香月ハルカ様 川出朋子様 川口俊子様 川口安子様 川里玲子様 河村公江様 川本嘉子様 樹原涼子様 久保田洋子様 熊坂良雄様 久米泰好様 小石 晋様 肥沼きよ様 後藤さより様 小松孝子様 近藤裕治様 斎藤愛香様 斎藤叡子様 斎藤宏子様 坂井洋子様 坂爪三千代様 佐々木信雄様 佐藤久男様 佐藤三津子様 佐藤美津子様 柴 伸子様 司馬美津子様 嶋田晶子様 須藤弘子様 角南実穂子様 攝待逸子様 高際悦子様 高堂 暁様 高橋かの子様 高橋美津子様 高橋百合子様 高畠 巨様 高本早苗様 武内玲子様 竹中晶子様 龍田直子様 立野了子様 館野美穂様 田中裕子様 田辺伸子様 谷口雅子様 谷口洋子様 田村燈子様 田村允子様 津金久子様 土田洋子様 遠山利衣子様 鳥越英子様 永田伸子様 中村恵子様 中村慎子様 新保達朗様 沼尻 正様 野澤良平様 野村早苗様 福田美穂様 古川薫子様 別所令子様 本宿伶子様 本庄秀子様 松浦靖子様 松岡雅子様 松本和子様 円尾南樹様 馬渡芳子様 満生博次様 宮下悠紀子様 宮本優玖子様 三好幸子様 三好陽子様 森田恵理様 森谷緋紗子様 矢島裕美子様 柳田博子様 藪波多佳志様 山口道子様 山崎ひろ子様 山添信正様 山田小夜子様 山本千恵子様 唯山嘉枝様 横山優子様 吉澤美智子様 吉田厚子様 米山和子様 李 正堯様 若井和子様 平成15年度入学生卒業10周年同期会様

【在学生・同ご父母】 龍田和彦様 松野紀子様 安川寛昭様

【役員・教職員・一般・他】 上原正子様 大内孝夫様 岡 珠世様 岡崎悦子様 岡崎耕治様 熊井千恵美様 小林とせ子様 鈴木郁夫様 平良栄一様 高橋冬彦様 武田 晃様 館岡真澄様 網川 恵様 富樫英夫様 原田 徹様 日高正枝様 堀内康雄様 前川慎一郎様 前田 淳様 松中延行様 三村隆文様 横地千鶴子様 渡邊規久雄様（他に匿名を希望される方40名）

栄冠おめでとう！（コンクール入賞者等）

●埼玉県「平成29年度下総院一音楽賞（音楽文化貢献部門）」受賞

（順不同、敬称略、経歴は受賞時のもの）

高橋美智子（本学特任教授）

●第31回京都芸術祭音楽部門 京都市長賞受賞 佐野悦郎（昭和44年大学フルート専攻卒業、本専攻科修了、本学講師）

●第3回アルトゥーロ・トスカニーニ国際音楽コンクール（イタリア）第2位入賞

塚本正美（平成23年大学音楽専攻卒業、本大学院修了）

●第47回イタリア音楽コンクール

ロイヤルティガー大賞受賞 福士紗希（平成21年大学音楽専攻卒業、本大学院修了）

シエナ大賞受賞 井出壮志朗（平成24年大学音楽専攻卒業、本大学院修了）

●神奈川フィルハーモニー管弦楽団に首席トランペット奏者として入団（平成29年11月）

林 辰則（平成16年大学トランペット専攻卒業）

●第5回寝屋川市アルカスピアノコンクール デュオ2台ピアノ グランプリ部門 グランプリ、寝屋川市長賞受賞

安齋 周（平成17年大学ピアノ専攻卒業、本大学院修了）、岡田彩音（大学3年ピアノ専攻、附属高校卒業）

●平成29年度文部科学大臣賞 第28回日本ドイツ歌曲コンクール 第2位入賞（1位なし）、富士薬品賞受賞 込山由貴子（平成21年大学音楽専攻卒業、本大学院修了）、第3位入賞（1位なし）、聴衆者賞受賞 山本将生（平成28年大学音楽専攻卒業、本大学院2年）、●第22回JILA音楽コンクール

管楽器部門 第2位入賞（1位なし） 長岐愛実（平成29年大学ホルン専攻卒業）、●第18回北関東ピアノコンクール 一般Sの部 第2位入賞 上坂愛美（平成28年大学ピアノ専攻卒業、本大学院2年）、●第34回愛知ピアノコンクール ソロ部門 大学・一般部門 銅賞受賞 古市明里（大学4年ピアノ専攻）、●第3回下田音楽コンクール ピアノ部門 大学・一般の部 第3位入賞 浜野花奈子（大学3年ピアノ専攻）

※上記の他多数。大学ウェブサイトをご覧ください。

教員免許状更新講習のお知らせ

武蔵野音楽大学では、平成30年度も教員免許状更新講習を開講します（現在認可申請中）。本学では、小学校、中学校および高等学校の、音楽を中心とする教員を対象に、必修領域6時間と選択必修領域6時間、そして選択領域18時間、合計30時間を開講します。

領域	期間	会場
①必修領域（6時間）	7/21・22の2日間	江古田 キャンパス
②選択必修領域（6時間）		
③選択領域（6時間×3日間）	7/23～25の3日間	

要項は4月下旬発行の予定。要項は、江古田キャンパスで取り扱っています。郵送をご希望の方は、本学ウェブサイトの「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室（TEL.03-3992-1125）へお電話にてご請求ください。本学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>

平成30年度4月～7月 演奏会のお知らせ

武蔵野音楽大学大学院修士課程在学学生によるコンサート 4月13日(金) 18:30 プラームスホール(江古田) 無料(全席自由・入場整理券不要)		
武蔵野音楽大学音楽学部新人演奏会 ～平成29年度卒業生による～		
4月24日(火) 19:00 ヤマハホール		¥1,500(全席自由)
武蔵野音楽大学大学院修士課程新人演奏会 ～平成29年度修了生による～		
5月14日(日) 18:30 プラームスホール(江古田)		¥1,500(全席自由)
マルゲリータ・グリエルミ 声楽公開レッスン 5月17日(水) 18:00 プラームスホール(江古田)		¥1,000(全席自由)
ミハエル・クプファー＝ラデツキー バリトン・レクチャー＆コンサート		
6月1日(金) 18:00 プラームスホール(江古田)		¥1,000(全席自由)
ニュー・ストリーム・コンサート33 ～ヴィルトゥオーゾコース演奏会～		
6月14日(水) 18:30 プラームスホール(江古田)	無料(全席自由・要入場整理券)	
ニュー・ストリーム・コンサート34 ～ヴィルトゥオーゾコース演奏会～		
6月15日(金) 18:30 プラームスホール(江古田)	無料(全席自由・要入場整理券)	
武蔵野音楽大学弦楽器教員による《室内楽のタベ》 6月19日(火) 18:30 プラームスホール(江古田)		¥1,000(全席自由)
ケマル・ゲキチ ピアノ・リサイタル 7月5日(水) 18:30 ベートーヴェンホール(江古田)		¥1,000(全席自由)
曲目＝ベルリオーズ(リスト編): 幻想交響曲 他		
武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル演奏会 7月12日(水) 18:30 東京オペラシティ コンサートホール		
指揮＝レイ・E. クレーマー 7月14日(金) 18:00 和歌山県民文化会館 大ホール		¥1,500(全席指定)
曲目＝ガーシュウィン: ヘ調のピアノ協奏曲より 第1楽章、2018年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より 他 一般¥1,500/小・中・高校生¥1,000(全席自由)		

お問合せ ●武蔵野音楽大学演奏部 TEL.03-3992-1120

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※チケットは武蔵野音楽大学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/> でも予約ができます。

中高生のためのステップ・アップ・プログラム

初心者の方から上級者の方まで、楽器や歌が上手になりたい!という中高生の皆さん、音楽大学という理想的な音楽環境で、一流講師陣によるレッスンに参加し、皆さんのスキルアップに役立ててください。

種別	日付	会場
ピアノ・声楽	5月13日⑩・11月4日⑩	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
管打楽器・弦楽器	6月3日⑩・9月30日⑩	

【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL.03-3992-2500 E-mail: nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

オープンキャンパス・学校説明会 & 体験レッスン

平成30年度のオープンキャンパス・学校説明会 & 体験レッスンは下記の日程で開催します。ぜひご参加ください。

日付	種別	開催地
5月6日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	長野県松本市★
5月13日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	福島県郡山市
5月20日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	岩手県盛岡市★
5月27日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	愛知県名古屋★/広島県広島市
6月10日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	宮城県仙台市
6月17日⑩	オープンキャンパス	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス★
6月17日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	静岡県浜松市
6月24日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	北海道札幌市/福岡県福岡市★

日付	種別	開催地
7月8日⑩	学校説明会 & 体験レッスン	石川県金沢市★/香川県高松市★
7月15日⑩	オープンキャンパス	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
8月26日⑩	オープンキャンパス	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス★

*★印の催しでは附属高等学校の説明会も開催します。

*事前申し込みが必要です。詳細につきましては、本学ウェブサイトをご覧ください。

*9月以降もオープンキャンパス・学校説明会 & 体験レッスンを開催します。

【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL.03-3992-2500
E-mail: nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

夏期講習会のお知らせ

平成30年度の武蔵野音楽大学、武蔵野音楽大学附属高等学校の夏期講習会(音楽大学受験講習会、高校音楽科受験講習会、社会人のための夏期研修講座、免許法認定講習)を、右記のとおり実施します。

*実施日程が昨年と変更となっている講習会があります。詳細は要項でご確認ください。

講習会要項は6月中旬発行の予定。要項は、江古田キャンパスで取り扱っています。郵送をご希望の方は、本学ウェブサイトの「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。本学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>

講座名	期間	会場
大学受験講習会	1期: 8/1～8/4 2期: 8/27～8/30	江古田 キャンパス
高校音楽科受験講習会	1期: 8/1～8/3 2期: 8/27～8/29	
社会人のための夏期研修講座	7/28～7/30	
免許法認定講習 ※教員免許状更新講習とは異なります	7/23～8/3	

アップライトピアノ (自動演奏装置付き)

年代不詳 ハグ作 スイス 高さ164cm

写真のピアノは、前面の紙ロールの回転により鍵盤が自動的に演奏し、同時に内蔵された木琴がメロディーを奏でる。また金属片が弦を叩き、きらびやかな音を発する。このような自動演奏装置の付いたピアノは「自動ピアノ」と呼ばれ、19世紀後半に考案され、往年の名ピアニストの演奏を再現できる装置として流行した。

自動ピアノの歴史は、ピンが植えられたバレルを手で回して演奏する「バレル・ピアノ」に始まる。その後紙に穴をあけ、その穴から吸引された空気が弁を動かし、その動きでハンマーが打弦する「ニューマチック・システム」が考案されると、紙ロール式の自動ピアノが登場した。

エジソンの発明した蓄音機がまだ開発段階であった時代、自動ピアノは希少な音楽再現装置として急速に普及し、各社はその開発にしのぎを削った。当初はテンポや強弱を手動で操作していたが、曲想やペダリングなども紙ロールに記録し、演奏を細部まで忠実に再現できるものが登場し、「リプロデュース・ピアノ」と呼ばれた。また、紙ロールに歌詞が付けられた「ソングロール」も販売され、自動伴奏で歌を歌うことができることから、人々の人気を博した。

1920年代が自動ピアノの最盛期であったが、その



後蓄音機の普及と1929年に端を発した大恐慌の影響で急速に生産が減少した。しかし、近年は楽器の実演というアコースティック感が再評価されるとともに、ネット配信の利用など新たな可能性に期待が寄せられている。

(武蔵野音楽大学楽器ミュージアム所蔵)

❖ 目次 ❖

平成30年度を迎えるにあたって	❶
福井直敬	
地球は美しい、世界は素晴らしい	❷
山崎直子	
音楽の万華鏡	❸
オペラではないオペラ 榎崎洋子	
Who's Who むさしの人名録	❹
江古田新キャンパス探訪④	❺
ベートーヴェンホール	

MUSASHINO NEWS

- ❖ 楽しく元気に三幼稚園発表会
- ❖ 外国人教授紹介 (平成30年度前期)
- ❖ MUSASHINO 掲示板
- ❖ 武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々
- ❖ 栄冠おめでとう! (コンクール入賞者等)
- ❖ 教員免許状更新講習のお知らせ
- ❖ 平成30年度4月～7月 演奏会のお知らせ
- ❖ 中高生のためのステップ・アップ・プログラム
- ❖ オープンキャンパス・学校説明会 & 体験レッスン
- ❖ 夏期講習会のお知らせ

武蔵野音楽大学大学院

博士前期課程・博士後期課程

武蔵野音楽大学

武蔵野音楽大学別科

武蔵野音楽大学附属高等学校

武蔵野音楽大学第一幼稚園

武蔵野音楽大学第二幼稚園

武蔵野音楽大学武蔵野幼稚園

附属音楽教室 江古田・入間・多摩

❖ 発行 ❖

学校法人 武蔵野音楽学園

江古田キャンパス ●〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1
TEL.03-3992-1121 (代表)

入間キャンパス ●〒358-8521 埼玉県入間市中神728
TEL.04-2932-2111 (代表)

バルナソス多摩 ●〒206-0033 東京都多摩市落合5-7-1
TEL.042-389-0711 (代表)

<http://www.musashino-music.ac.jp/>

2018年4月1日発行 通巻第125号